

先ず神の光に同調する明るい心になれ

谷口雅春

われわれは神様の恵みを

自分で一心に実現しようと思っただけだ。

先ず明るい心になって神仏の光の波に同調する

ということが必要であります。

人間の本来の生命というものは、

明るいのが本来の相であります。

われわれの生命というものは、

神様の生命が宿っているのでありますから、

常住歓喜である。

常に喜びである。

その「実相」を包んでいるのが

「包み」すなわち「罪」であるのです。

その「包み」を開いてしまえばもう「罪」はない。

だから、吾々自身に宿る内部の「光」を包まずに

われわれが先ず明るくなる

ということが必要なのであります。

(新装新版「真理」第3巻334～335頁)